

「戦争法案」と言わず何と申すのでしよう?!

4月15日、安倍晋三首相が「平和安全法制」と呼ぶ法案の閣議決定後の記者会見で、「戦争法案」との急所を突いた批判に対し「アメリカの戦争に巻き込まれることは絶対にあり得ない」「戦争法案などといった無責任なレッテル貼りは全くの誤り」と躍起になって反論しました。しかし、いくら「平和」の言葉で粉飾しようが、今回の法案は、アメリカが世界で行う戦争に際し、いつでも、どこでも、どんな戦争でも、自衛隊が支援・参加する「戦争法案」というのがその正体です。

● アメリカに守られている日本であるが、日本が武器をもって戦争に参加するのはイヤだ。「安倍さん、戦場にお先にどうぞ」 天皇も戦没者の慰霊に海外に行っている、安倍首相もそういう行動に見習ってはどうか。

● これまで、政治を深く考えたことはなかった。安倍さんはほんでもないことをしていると思う。友だちに自衛隊員がいる。PKO派遣のときは給料が多くなると喜んでしたが、今回はどう考えているのだろうか? 四月から平診で働くようになり、職場にいるいろんなことを学べるんだなと思う。

● 国会ってどう動いているのかよく分からないけれど、「えっ!! そんなこと内閣で決めたの?!」と驚いている。これまでにテレビも流して見てきた。政治のこと、戦争のことも遠くのことと思っていた。でも、今回の閣議決定をみてビックリ。閣議決定の後、国会でどうやって法律が決まってくるの?...

● ネットで「戦争立法」で検索すると、共産党関係のものが大多数だった。戦争立法という表現も一般的でないのかな? 閣議決定して国会に提出された「法案そのものの学習」が必要だと思う。アメリカの戦争するところに、どこでも自衛隊が出かけていく、安倍首相はメチャクチャだと思ふ。知らなくても火の粉は自分にかかってくる。

「戦争立法」をどう考え、運動をすすめるか?

五月一九日、運営委員会で意見を出し合いました

―弁護士を講師に勉強会をしよう!―という意見多数あり。

● 法案そのものは今一理解していない。自衛隊員の友だちが「銃を人に向けて撃たないことが誇りだ」と言っていた。でも、日本以外の軍隊は「戦地に向いて戦うことが誇りなのか? 日本の誇りは「戦地に行かない」ことが誇りだと思う。

● 九条の会に初めて参加した。安倍さんのやることは信用できない。「集団的自衛権」もよく分からないが、国民はカヤの外といった感じ。戦後七〇年の「安倍談話」でも侵略戦争に反省もお詫びもないらしい。アメリカに都合のいいこの人に日本をあずけることはできないという不信感がある。

● 「談話」のことですが・・・アメリカは戦争の歴史だった。アメリカにとつての平和とは、反発するところを戦争でつぶしてしまうことだ。そんな国と一緒に行動することは危ない! 「九条」から見て「戦争法案」はどうかと国民の討論がおきる前に急いで夏までに国会を通してとしている。

● 憲法はアメリカのGHQが押し付けたもので、国民が作ったものではない、だから新しい憲法をつくるという論があるが、急ぎ足で法律を作るといふことは国民に考えるヒマを与えないことになる。

平診九条の会

かべしんぶん

2015年6月号

(通算19号)

発行: 平診9条の会



・オスプレイ 17 機、日本が購入予定。3600 億円!
・5月17日ハワイで墜落炎上。死傷者多数。
・それでも日本政府は「安全」と言う。アー! 日本はなんという国だ!

辺野古新基地止めよう！沖縄県民集会に3万5千人！
すごい！ (5月17日、那覇市の野球場で、しんぶん赤旗より引用)



内山奈月 著
 南野 森 著

憲法主義

条文には書かれていない本質
 憲法を唱導する
 アイトルと
 気鋭の憲法学者による
 1億人のための
 憲法17講

AKB48のなつきーと
 憲法学者との講義・対
 談。「9条の会文庫」に
 追加する予定です。

●新聞で戦後七〇年の特集記事を見ているが、現在の政府がやっていることは戦前と似ていると思う。今こうして話し合いができていることが大切なことだと思う。

●第二次世界大戦の反省から現在の憲法が生まれ、平和を守ってきた。安倍さんがこのまま日本の首相でいいのかが問われていくでしょう。

●こうして、みんなて話し合いをしていくことも「運動」のひとつだと思う。みんなの意見には心づよく思う。戦争の被害者は、戦争に狩り出される人もそうだが、常に国民が被害者だ。

●総選挙では安倍首相はアベノミクスだけを語り自民党は大勝した。その力で戦争法を通す、他人事じゃないよ！

●弁護士を招いて、しっかり勉強しよう！

核兵器の廃絶を！ 辺野古基地建設反対！ 原発は廃炉に！

国民平和大行進

JR 野花南駅で 富良野市から
 芦別市へ バトンタッチ(5月17日)

原水禁世界大会に今年も平診から複数の代表を送り出しましょう！



ピースラン出発前の職員、走ったのはほとんどが20歳代、一人だけ60歳代後半。



平和診療所の若手職員を中心に約10km走って参加。走った職員は7名で計11名が参加しました。その後、スーパーマーケット前で署名宣伝行動に参加しました。